



8月4日(火) 9時から京浜グループ第2回目のガバナー公式訪問が始まりました。この日は3クラブ合同で最初は東京京浜ロータリークラブでした。塚本会長、井上幹事、鈴江副会長、はじめ会員数23名、

朝会のためか女性の会員はいません。月3回の例会で第1第3火曜日は8時開会、第4火曜日は19時と夜間例会にしていました。高齢者視聴覚障害者の支援活動や、毎例会で100円寄付を実施し教育関係に役立て、魅力ある卓話を行ない増強に繋げたいとのことでした。このクラブには岩井パストガバナーが在籍され日本財団の運営にご尽力されていたらしいやいました。

10時から東京大井ロータリークラブでした。加藤会長、長谷川幹事、木村副会長、料治副幹事、以下会員数は19名と地区内で一番少ないクラブですが、財団も米山も寄付は毎年7月に完納、前年度はNPO法人を設立しミクロネシアのチューク州へ飲料水蒸留器を製作し寄贈しています。今年は「エンジョイ・ロータリー」をテーマに、楽しんで奉仕活動を行おうとしています。歴史あるクラブですが平均年齢が高く、世代交代が難しいとのことでした。

11時から東京高輪ロータリークラブとの懇談でした。会場へ入った感じがすごく明るく活気がありました。船橋会長、細見幹事、板橋会長エレクト、はじめ会員年齢層が若く、第1、第3、第5、の夜間例会のため仕事を離れて話し合えるので明るく活気がありました。沖縄の宮古島と交流を深め老人ホーム慰問やマングローブの植樹活動をしています。以前会員数が12名になったことがありますが、大田会員を中心に全員が協力して30名になりました。今後の発展が期待できる明るいクラブでした。

12時30分から3クラブ合同の例会となり、久邇ガバナーから「水と緑の必要性」と「幼児教育の大切さ」について、分かり易いお言葉でお話しを頂き、拍手喝采のうちに閉会となりました。



東京京浜RC ガバナー公式訪問



東京大井RC ガバナー公式訪問



東京高輪RC ガバナー公式訪問

